

# 2025年 学校体育研究同志会「春の講座」

## テーマ：運動文化論のこれまでとこれから

(第1回運動文化論検討委員会研究会)

今年の『春の学校』は『春の講座』へ。現在、同志会は会の理論的支柱である「運動文化論の再検討」と21世紀中葉に向けた「新たな教育課程づくり」に取り組んでいます。

リニューアルして開催する春の講座の第1回目は、「運動文化論の生成と展開」です。1960年に丹下保夫によって提起された運動文化論は、「国民のための運動文化」とそれを支える「体制の建設（創造）」という2つの創造活動を統一していく理論として同志会で検討・深化してきました。特に、1970年代には、「スポーツ権」の検討を通じて、この創造を担う主体を「スポーツの権利主体」と措定しました。その後、スポーツの権利主体が身につけるべき教養の形成をめざして2003年には、『私たちの教育課程試案』が世に問われたのです。しかし、その後20年の間にスポーツに関する科学的研究は大きく進展し、またスポーツをめぐる状況も様変わりしました。スポーツにおけるジェンダーやセクシャリティの問題、メディアによるスポーツの支配など、この間に顕在化した問題も多数存在します。運動文化論を今日的に再検討する意義がここにあります。

そこで、今回は元全国常任委員長の森敏生さんに運動文化論のこれまでとこれからについて語っていただき、参加者全員で運動文化論の到達点と課題を共有したいと思います。

■期日：2025年5月10日（土）午前10時30分

■会場：オンライン ※アドレスは、申し込み者にお知らせします

■研究報告：「運動文化論のこれまでとこれから」

～権利としてのスポーツの意義と課題～

森 敏生さん（武蔵野美術大学／東京支部）

■指定討論者：五代孝輔さん（鹿児島支部）

久保 州さん（東京支部）

## ■日程

日	10:30	1200	1300	1445	1500	1700	1730
10日 (土)	開会	委員会提案 「今、なぜ 運動文化論 の再検討」 なのか	昼食休憩	研究報告 森 敏生 「運動文化論の これまでとこれ から」	休憩	指定 討論	質疑 応答  まとめ

■参加費：参加 500 円 [学生：200 円]

■申込み方法：学校体育研究同志会HP又はピーテックスサイトから

<https://taiiku-doshikai.org/>

同志会 HP



<https://taiikudoushikai2025haru.peatix.com/view>

申込みサイト



■申し込み締切：5月8日(木) 厳守 (コンビニ払い5月7日(水))

■事前学習会を4月12日(土)に開催します(申し込み不要)

春の講座に参加予定の方は、是非ご参加ください。こちらは、**無料です。**

内容：

16:00～16:15 運動文化論の再検討の意義 (黒川哲也さん)

16:15～17:00 森敏生さん「同志会研究のあゆみと私たちの課題」(同志会編『体育実践とヒューマニズム 学校体育研究同志会 50年のあゆみ』, 2004年:287-299)を読む

17:10～18:10 討論

18:10～18:30 論点整理とまとめ

アドレス：<https://us02web.zoom.us/j/82069716732?pwd=OvzV5aweIoUq8SCcJ4MFLVkg5V3arn.1>

ミーティング ID: 820 6971 6732

パスコード: 174967

★問い合わせ：児玉までメール [k.nozomu@jcom.home.ne.jp](mailto:k.nozomu@jcom.home.ne.jp)